



EDIUS[®] X

EDIT ANYTHING. FAST.

リリースノート

Software Version 10.20.7490 (2021年5月版)

www.grassvalley.com

サポートする OS について

Windows 7 はサポートされません。EDIUS X は Windows 10 上でのみご利用いただけます。

Windows Defender SmartScreen がインストーラの起動を停止する場合

Windows Defender SmartScreen がインストーラの起動を停止する場合は下記の手順を実行してください。

- 1) インストーラを右クリックし [プロパティ] を選択します。
- 2) [デジタル署名] タブを開き "GRASS VALLEY K.K." のデジタル署名があることを確認します。
- 3) [全般] タブを開き [許可する] をチェックします。
- 4) [適用] をクリックし、続けて [OK] をクリックします。
- 5) もう一度インストーラを起動します。

Floating License Server について

Floating License Server をお使いの場合、そのバージョンは EDIUS X と同じ(または上位)である必要があります。

EDIUS X の動作環境

本バージョンの動作環境は以下の通りです。

CPU	AVX2 をサポートする第4世代 Intel CPU 以降 または 同等の AMD CPU
メモリー	8GB 以上(4K / 8K 編集には 16GB 以上)
ハードディスク	EDIUS のインストールに 6GB 以上、 映像用に SSD または SATA / 7,200rpm 以上のドライブが必要
グラフィックス	1GB 以上、4K / 8K 編集には 2GB 以上のビデオメモリーが必要。 1024x768 32-bit 以上に対応 Direct3D 9.0c 以降および PixelShader3.0 以降に対応
サウンド	WDM に準拠したサウンドデバイスが必要
光学ドライブ	Blu-ray や DVD を作成するには、対応したドライブが必要
インターネット環境	インストール、アップデート、ライセンス認証、および、ユーザー登録、サポートに必要 ※EDIUS Pro はライセンス認証のため定期的なインターネットへの接続が必要
OS	Windows 10 64-bit version 1903 以降

※動作環境は予告なく変更される場合があります。

機能追加

本バージョンにて以下の機能が追加または改善されました。

EDIUS

- Bin に登録したクリップの各種フォーマットへのファイル変換をサポート。
- 上書きしようとしているファイルを EDIUS が既にオープンしている場合に警告メッセージを表示するよう改善。
- サードパーティ製プラグインの初期化に時間がかかる場合でも起動時に「応答なし」になり難くなるよう改善。
- ビンウィンドウのメタデータビューにて MOV ファイル及び MP4 ファイルのメタデータの表示をサポート。
- ATOMOS NINJA V を接続した Panasonic DC-S1H で撮影された Apple ProRes RAW ファイルをサポート。
- “ボイスオーバー”ダイアログを開いた時点で新規ファイル名を生成するように修正。
- GV Job Monitor にエクスポートしたファイルの場所をエクスプローラーで開く機能を追加。
- ProRes RAW clip のデコードカラースペースを変更する機能を追加。
- 波形キャッシュファイルの生成速度を改善。
- XAVC v2.0 8K ファイルの読み込みをサポート。
- 他社製システム(素材管理、送出サーバーなど)との互換性を持つ MXF ファイルを出力するために、MXF エクスポーターでのプロファイル選択をサポート。
- オンスクリーンディスプレイでタイムラインタイムコード、ソースタイムコード、ユーザービットの同時表示をサポート。
- H.265 ソフトウェアデコーダーのパフォーマンスを改善。
- Bin でファイル変換する際オリジナルのカラースペースを保持するように改善。
※AVI ファイルのカラースペース情報は標準のメタデータではないため、現時点では下記のアプリケーションでのみ解釈可能。
 - EDIUS 9, XRE Server 9, XRE Transcoder 9 のバージョン 9.55
 - EDIUS X バージョン 10.20
 - Mync バージョン 1.75
 - Mync バージョン 10.20
- MOV ファイル及び MP4 ファイルのインポート、エクスポートにおいて sRGB、DCI-P3、P3-D65 カラースペースの保持をサポート。
- 以下の P3 カラースペースを持つファイルの読み込みをサポート。
 - P3-D65/sRGB
 - P3-D65/HLG
 - P3-D65/PQ
- H.264/AVC エクスポーターで NVIDIA GPU によるハードウェアエンコードをサポート。
※インターレースやビット深度が 10bit のクリップはエクスポート不可。
- Bin でファイル変換する際バックグラウンドで実行するように改善。
- GV Job Monitor をパレットウィンドウのタブとして EDIUS GUI に統合。
- エクスポートしたファイルを自動的に Bin に登録するオプションを追加。
- MP3 オーディオファイルのエクスポートをサポート。

- フローティングライセンスサーバーが Windows Server 2019 をサポート。
※Windows Server 2012R2 は現在サポート対象外。
- 多数のクリップを含むタイムラインに対する操作のパフォーマンスを改善。
- ネストされたシーケンスに対するレンダリングのパフォーマンスを改善。
- Amazon S3 からの RED ファイルのインポートをサポート。(EDIUS Cloud のみ)
- Canon EOS-1D X Mark III 及び EOS R5 で収録オプション“RAW(軽量)”もしくは“IPB(軽量)”で撮影されたファイルをサポート。

Mync

- プロパティペインにて MOV ファイル及び MP4 ファイルのメタデータの表示をサポート。
- ATOMOS NINJA V を接続した Panasonic DC-S1H で撮影された Apple ProRes RAW ファイルをサポート。
- XAVC v2.0 8K ファイルの読み込みをサポート。
- インポート設定画面の非表示をサポート。
- サムネイル表示でクリップのタイムコード表示をサポート。
- MOV ファイル及び MP4 ファイルのインポートにおいて sRGB、DCI-P3、P3-D65 カラースペースの保持をサポート。
- 以下の P3 カラースペースを持つファイルの読み込みをサポート。
 - P3-D65/sRGB
 - P3-D65/HLG
 - P3-D65/PQ
- ProRes MOV ファイルと HQX AVI ファイルの出力をサポート。
- Canon EOS-1D X Mark III 及び EOS R5 で収録オプション“RAW(軽量)”もしくは“IPB(軽量)”で撮影されたファイルをサポート。

更新履歴

本バージョンにて以下の不具合を修正・改善しました。

EDIUS

- プライマリーカラーコレクションのカーブタブがハイライトされない。(SFDC00767303)
- 「サービスとの通信に失敗しました」というエラーが出て EDIUS が起動しない。
- フローティングライセンスサーバーがアップデートインストール時に正常に更新されない。
- ソースブラウザーのフォルダービューがフォルダーを開いた時に意図せずスクロールする。
- プロジェクト設定で音声を 32bit にしていると“クリップ/トランジションのレンダリング”が失敗する。
- アイコンフォルダーに異なる拡張子を持つイメージファイルが存在する場合、“アイコンの選択”ダイアログは単一の拡張子の物しか列挙しない。
- Amazon S3 からタイムラインにもプレイヤーにも P2、XDCAM または XAVC の XML ファイルをドロップできない。(EDIUS Cloud のみ)
- 不正な MXF ファイルを開くと EDIUS が強制終了する。
- プロキシの画質がドラフトプレビューで不必要に低下する。

- 特定の ProRes RAW ファイルを開くと EDIUS が強制終了する。
- マーカーリストファイル名に ‘.’ (ピリオド) を含めるとその文字以降の文字が消失する。
- 規格に違反した部分のある XAVC ファイルが出力される。
- プレビュー中に EDIUS がフリーズする。
- 下トラックのクリップが上トラックのクリップの開始点をカバーしていない場合、モーショントラッキングの追跡モード(下レイヤー)は期待通りに動作しない。
- 持ち出し編集プロジェクトを読み込むと EDIUS が強制終了する。(SFDC00764380)
- タイムラインクリップが収録中であることを示す青い線が表示されない。
- Visual C ++ランタイムのインストールで OS の再起動が必要な場合、GV License Manager のインストールが失敗する。
- 多数のクイックタイトラークリップを含むプロジェクトの読み込みに時間がかかる。(SFDC00766300)
- 波形表示形式で Log を選択しているとタイムラインカーソルがスムーズに動かない。(SFDC00764735)
- In、Out 間のタイムラインクリップをコピーすると、Out 点の次のフレームもコピーされる。(SFDC00777673)
- 既存のプロジェクトを読み込むとスタビライザー解析が再実行される。(SFDC00761495)
- マルチモニター環境でマスクの設定ダイアログが見えなくなる。(SFDC00766306)
- RED ファイル読み込み時における問題。
 - ハイライトロールオフの初期値が正しくなかったため、カメラの「ソフト」の初期値と異なる。
 - REDWideGamutRGB を使用して撮影したファイルを読み込むとハイライトロールオフ、トーンマップのメタデータが正しく取り扱われない。
- XDCAM ドライブから部分転送された XDCAM クリップの波形が表示されない。
- 特定の PNG ファイルが読み込めない。(SFDC00773749)
- バッチエクスポートで出力すると選択していないオーディオフォーマットでファイルが作成される。(SFDC00771431)
- カラースペースが DCI-P3 である MOV もしくは MP4 クリップを読み込むと色域が BT.709 と誤認識される。
- Undo すると EDIUS が強制終了する。
- タイムアウト判定が早すぎるためライセンスサーバーへの接続に失敗する。
- タイムラインの再生を開始すると「PCI Bus Busy」エラーが発生する。(SFDC00769178)
- プロジェクトのカラースペースが BT.709 でも BT.2020 でもない場合、DNxHR エクスポーターが失敗する。
- MXF インポーターが一部のカラースペースを保持しない。
- マーカーパレットのカラム幅の変更が保持されない。(SFDC00778776)
- ProRes RAW クリップが不正確な色で表示される。

Mync

- RED ファイル読み込み時における問題。
 - ハイライトロールオフの初期値が正しくなかったため、カメラの「ソフト」の初期値と異なる。
 - REDWideGamutRGB を使用して撮影したファイルを読み込むとハイライトロールオフ、トーンマップのメタデータが正しく取り扱われない。
- 不正な MXF ファイルを開くと Mync が強制終了する。

- 特定の ProRes RAW ファイルを開くと Mync が強制終了する。
- 特定の PNG ファイルが読み込めない。(SFDC00773749)
- カラースペースが DCI-P3 である MOV もしくは MP4 クリップを読み込むと色域が BT.709 と誤認識される。
- タイムアウト判定が早すぎるためライセンスサーバーへの接続に失敗する。
- MXF インポーターが一部のカラースペースを保持しない。
- ProRes RAW クリップが不正確な色で表示される。

既知の障害

本バージョンの既知の障害は以下の通りです。

EDIUS

- 50p/60p クリップの場合、ソースタイムコードのフレームの値として常に偶数が表示される。
- EDIUS.exe をマルウェアだと判定するセキュリティソフトがある。
- Dolby Digital Professional / Plus でエンコードしたものを EDIUS で再生すると、音量が変わる。
- スタンドアロンの GV Job Monitor が起動時に“EdiusHubPackage.msi”を要求する。
一時回避策: EDIUS に統合された GV Job Monitor を使用する。
- Windows の設定の“アプリと機能”に EDIUS X が二項目現れる。
- 現在のプロジェクト名に ‘%’ (パーセント) が含まれている場合 EDIUS に統合された GV Job Monitor の見た目が変わる。
- 現在のプロジェクト名に ‘{’、’}’ (中括弧)、 ‘#’ (シャープ)、 ‘&’ (アンパサンド) または ‘+’ (プラス) が含まれている場合、EDIUS に統合された GV Job Monitor は“現在のプロジェクトのみ”がチェックされていると正常動作しない。
- Bin でファイル変換する際、ファイル変換(一括)を選択すると H.264 や H.265 がエクスポートリストに表示されない。
- Bin でファイル変換する際、既定のファイル名が設定されない。
- HQ MXF エクスポートを選択するとアルファマト変換が失敗する。
- アルファマト変換の結果ファイルのアスペクト比が変換元クリップではなくプロジェクト設定の値になる。
- タイムラインがダミーエフェクトを含んでいる場合、ファイルのエクスポートに失敗する。

Mync

**既知の障害はありません。*

制限事項

EDIUS / Mync

QuickTime for Windows の非サポートによる対応フォーマットの制限

EDIUS X では QuickTime for Windows のサポート (QuickTime Essentials のインストールによる対象ファイルの取り扱い) 終了に伴い、下記フォーマットのファイルは扱えません。

静止画: Flash Pix, Mac Pict, QuickTime Image

動画 (インポート・エクスポート): M4V および他のコーデックの MOV ファイル

※MPEG-2, H.264/AVC, ProRes 等一般的なビデオコーデックの MOV ファイルはインポート、エクスポート共に可能です。

動画 (エクスポート): 3GP (MOV), 3G2 (MOV)

音声: MOV (Linear PCM, AAC を除く), QuickTime Audio

重要

上記ファイルが含まれているプロジェクトを EDIUS X で読み込んだ場合、それらはオフラインになります。